

●それは、飼っていた犬のゴンにかまれ
●たことから始まった。
●あまりにも、ゴンがうるさいから、ゴ
●ンの頭をたたいたら、かまれた。
●次のしゅんかん、ぼくは、ゴンになっ
●ていた。犬小屋にひもでつながれた、
●ゴンになっていた。
●そして、ゴンを見下ろしているぼくの
●すがたがそこにあった。
●きつとぼくと、ゴンは入れかわったの
●だ。まあ、すぐにもどれるはずだ。
●しかし、ぼくはずっと犬小屋につなが
●れているゴンのまま。
●雨の日は、水が小屋の中に入ってきて
●つめたかった。
●かぜの日は、ぶるぶるとふるえ、さむ
●かった。
●何より、いつもひとりぼっちで、さび
●しかった。ぼくは小屋の中で泣いた。
●すると、ぼくはぼくにもどっていた。
●それからというものの、ぼくはゴンと毎
●日遊び、毎日話しかけるやさしいぼく
●になっていた。

問 い 1 ぼくはゴンにかまれたことにより

ゴンと（

問 い 2 どうして、ぼくは毎日ゴンに話しか
けるようになったのだろうか？

（

）